

フィジカルアセスメント

ナンバリング:N1-S1-C05

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	1	区分/単位数	講義・演習/1単位
期間	後期		

・学修方針(講義概要等)

健康状態の把握に関する情報を収集するために必要な人体の構造と機能・観察技術(問診・視診・触診・打診・聴診)について、講義と演習を通して学ぶ。また、観察した結果から対象の健康状態と看護ケアを考える過程を学び、看護におけるフィジカルアセスメントの重要性について学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

人体の構造と機能を理解した上で授業に臨み、講義の他、視聴覚教材やシミュレーター、学生間での観察を通して、問診と視診・触診・打診・聴診の技術を用いて、系統別に身体の状態を査定することができるようになる。事例では、対象に必要な観察は何かを考え、その結果から対象の状態をアセスメントし、必要な援助を考えることができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

- 1.看護におけるフィジカルアセスメントの意義や重要性を述べることができる
- 2.フィジカルアセスメントの基本技術(問診・視診・触診・打診・聴診)を説明できる
- 3.身体計測の目的と方法を説明できる
- 4.頭頸部と感覚器のフィジカルアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価を説明できる
- 5.呼吸器系のアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価を説明できる
- 6.循環器系のアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価を説明できる
- 7.腹部消化器系のアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価を説明できる
- 8.脳神経系のアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価を説明できる
- 9.筋骨格系のアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価を説明できる
- 10.頭頸部のフィジカルイグザミネーションを実施できる
- 11.呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
- 12.循環器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
- 13.腹部消化器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
- 14.脳神経系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
- 15.筋骨格系のフィジカルイグザミネーションを実施できる
- 16.提示された事例の対象に必要な問診・フィジカルイグザミネーションは何かを列挙することができる
- 17.提示された事例の対象に必要なフィジカルイグザミネーション実施することができる

・授業日程

【講義】

会場：西1-A講義室、マルチ4-A講義室、マルチ2-A実習室、マルチ2-B実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
10/24 金 2限	フィジカルアセスメントとは、身体計測、頭頸部と感覚器のアセスメント ・看護におけるフィジカルアセスメントの意義や重要性を述べる ・フィジカルアセスメントの基本技術(問診・視診・触診・打診・聴診)を説明できる ・身体計測の目的と方法を説明できる ・頭頸部と感覚器のフィジカルアセスメントの意義・観察方法と留意点・評価を説明できる 【関連するSBO】1,2,3 【事前学修:30分】教科書p2~33「フィジカルアセスメント総論」「身体計測」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授

10/30 木 1限	呼吸器系のアセスメント① ・呼吸器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【関連するSBO】4 【事前学修:30分】教科書p100～137「呼吸器系のアセスメント」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師
10/31 金 3限	呼吸器系のアセスメント② ・呼吸器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【関連するSBO】5 【事前学修:30分】教科書p100～137「呼吸器系のアセスメント」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 小林 由美子 講師
11/6 木 1限	脳・神経系のアセスメント ・脳神経系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【関連するSBO】8 【事前学修:30分】 ・「脳・神経系のアセスメント」について、教科書p226～231の総論、p232～233、p276～279、p296～297の各論の目的を読む ・教科書p280「バレー徴候の観察(上肢)」について、掲載されているQRコードを読み込み動画を視聴する 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 松田 悠史 助教
11/7 金 2限	筋・骨格系のアセスメント ・筋・骨格系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【関連するSBO】9 【事前学修:30分】 ・「筋・骨格系のアセスメント」について、教科書p326～334の総論、p336、p347の各論の目的を読む ・教科書p335「歩行の異常」について、掲載されているQRコードを読み込み「分回し歩行」の動画を視聴する 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 松田 悠史 助教
11/10 月 3限	循環器系のアセスメント ・循環器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【関連するSBO】6 【事前学修:30分】教科書p138～169「循環器系のアセスメント」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授
11/10 月 4限	腹部消化器系のアセスメント ・腹部消化器系のアセスメントの意義,観察方法と留意点,評価を説明できる 【関連するSBO】7 【事前学修:30分】教科書p170～188「腹部のアセスメント」について読む 【事後学修:30分】講義資料を復習する	共通基盤看護学講座 柏木 ゆきえ 准教授

【演習】

11/7 金 3限	頭頸部と感覚器のアセスメント ・頭頸部のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【関連するSBO】10 【事前学修:30分】頭頸部・口腔フィジカルイグザミネーションのチェックリストを確認する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/7 金 4限	呼吸器系のアセスメント ・呼吸器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【関連するSBO】11 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書p122「胸部の打診」、p129「聴いてみよう正常呼吸音」、p131「聴いてみよう連続性副雑音」、p132「聴いてみよう断続性副雑音」、p133「呼吸音の聴診」について掲載されているQRコードを読み込み動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/11 火 1限	脳・神経系のアセスメント ・脳神経系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【関連するSBO】14 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・Web Classから「意識レベルの観察」の動画を視聴する ・教科書p248「眼球運動の観察」、p250「瞳孔・対光反射の観察」について掲載されているQRコードを読み込み動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

11/12 水 1限	筋・骨格系のアセスメント ・筋・骨格系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【関連するSBO】15 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書p347「徒手筋力検査」、p349「MMTの評価」について掲載されているQRコードを読み込み動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/14 金 2限	循環器系のアセスメント ・循環器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【関連するSBO】12 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書p153「心音 I 音・II 音」、p158「収縮期雑音・拡張期雑音」、p161「心音の聴診」について掲載されているQRコードを読み込み動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/14 金 3限	腹部消化器系のアセスメント ・腹部消化器系のフィジカルイグザミネーションを実施できる 【関連するSBO】13 【事前学修:30分】 ・事前に配布したチェックリストを確認する ・教科書p178「腹部全体の視診」、p183「腹部全体の打診」、p187「腹部全体の触診」について掲載されているQRコードを読み込み動画を視聴する 【事後学修:30分】演習終了後、チェックリストや動画教材を用いて、自己の実施内容を振り返り、手順と根拠・留意点を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/17 月 3限	技術試験 ・提示された事例の対象に必要な問診・フィジカルイグザミネーションは何かを列挙することができる ・提示された事例の対象に必要なフィジカルイグザミネーション実施することができる 【関連するSBO】16,17 【事前学修:30分】提示された事例に必要な問診・フィジカルイグザミネーションは何か考え、観察技術を練習する 【事後学修:30分】フィードバックをもとに観察技術を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教
11/17 月 4限	技術試験 ・提示された事例の対象に必要な問診・フィジカルイグザミネーションは何かを列挙することができる ・提示された事例の対象に必要なフィジカルイグザミネーション実施することができる 【関連するSBO】16,17 【事前学修:30分】提示された事例に必要な問診・フィジカルイグザミネーションは何か考え、観察技術を練習する 【事後学修:30分】フィードバックをもとに観察技術を復習する	共通基盤看護学講座 菖蒲澤 幸子 教授 柏木 ゆきえ 准教授 小林 由美子 講師 松田 悠史 助教

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護がみえる vol.3フィジカルアセスメント 第1版	医療情報科学研究所	メディックメディア	2019
参	根拠と急変対応からみたフィジカルアセスメント	清村紀子, 工藤 二郎	医学書院	2014

・成績評価方法

<p>【総括的評価】筆記試験70点(多肢選択、穴埋めと記述)と技術試験・演習への取り組み30点の合計100点とする *技術到達度の確認は評価表に基づき評価する(配点30点) *演習への取り組みは、以下の内容とする ・演習前の事前課題・事後課題の記載内容の不足は、1回につき1点減点 ・最終期限までに課題の未提出がある場合、1回につき3点減点 ・演習では援助者として必要な身だしなみの準備(指定した服装、爪を短く切る、髪をまとめる、上履きあるいはナースシューズの準備、名札を着用する等)が必要となるため、演習時に数回にわたりチェック表を用いて確認する。指導後も4回以上不適切な準備が見られた場合は3点減点。 【形成的評価】各単元(観察項目)の中で「自己評価と振り返り」を行い、学修の成果を確認する</p>

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・Googleフォーム、SlidoなどのICTを活用して、授業の感想・意見・質問を確認し、必要時フィードバックをする
- ・提出する課題に対し、適宜コメントして返却する
- ・課題の解説・演習後の質問の回答(必要時)をWebClassに掲載する
- ・「技術到達度」の評価は、評価表に基づき評価し、学生にフィードバックする

【その他】

- ・解剖生理学など広く授業内容に関連した教科書の章を事前に読んで参加する。また、“教科書に掲載されているアプリから見る動画”、“eナーストレーナーの動画”の視聴覚教材を活用し、イメージトレーニングを行って、学修のポイントを理解した上で参加すること
- ・演習の概要(演習計画)はWebClassにアップするので、印刷物が必要な場合、各自ダウンロードして印刷すること
- ・看護技術の修得は繰り返し実施することが必要なため、授業終了後も主体的に技術練習を行い、自己学修を重ねて知識と実技の定着に努めること
- ・授業時間を有効に使用するために演習時は物品片付けで授業時間外になることがある。演習の準備と片付けに主体的に参加すること
- ・各演習ではグループ間もしくは学生ペア同士で看護師役と患者役を経験し、アセスメント技術の修得と共に患者の立場から必要な配慮の理解を深める

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3):専門分野 基礎看護学

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有(なければ「無」)

大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、基礎看護学領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	フィジカルアセスメントモデル“Physiko”	6	呼吸音・心音の観察
演習	呼吸音聴診シミュレーター“ラングⅡ”	6	呼吸音の観察
演習	万能型看護実習モデル“八重”	12	腹部の観察
演習	ペンライト	12	口腔内の観察,対光反射の観察
演習	瞳孔計	12	瞳孔の直径の測定